

GLORY

# GLORY REPORT

グロリーレポート

トップメッセージ

さらなる事業成長と収益性向上に向け、  
着実に歩みを進めてまいります

p05

特集

躍進を続ける欧州市場

p07

製品トピックス

紙幣硬貨商品券入金機<DS-N770>  
紙幣整理機<USF-200>

第70期  
中間報告書

平成27年4月1日から  
平成27年9月30日まで

## Contents

トップメッセージ	01	セグメント別の状況	03	特集	05
製品トピックス	07	財務データ	09	会社情報	10
株主メモ					

グローリー株式会社



さらなる  
事業成長と  
収益性向上に向け、  
着実に歩みを  
進めてまいります

代表取締役社長

尾と元和

### 平成28年3月期上半期の 経営環境と業績について

#### 国内は金融市場、流通・交通市場、 海外は北米の販売が好調

当上半期の日本経済は、個人消費が底堅く推移し、企業の設備投資や雇用情勢も改善傾向となるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済につきましては、欧米では総じて回復傾向が持続したものの、アジアでは中国経済の減速が周辺各国に影響を及ぼし始めるなど、全体としては不透明な状況が続きました。

このような経営環境の下、当社グループは、本年4月から3ヶ年計画の『2017中期経営計画』をスタートさせ、諸施策を展開してまいりました。当上半期は国内の金融市場や流通・交通市場の販売が好調に推移し、売上高、営業利益は前年同期に比べて増加いたしました。が、為替差損の発生等により、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は減少いたしました。

セグメント別に見ますと、国内の金融市場では、主要製品である窓口用「紙幣硬貨入出金機」やコンパクトタイプの「オープン出納システム」の販売が更新需要や新規受注の獲得により好調でありました。流通・交

通市場では、消費税率引上げ等の影響により先送りされていた小売店の設備投資が回復傾向にあり、主要製品である「レジつり銭機」の販売が大きく伸びました。一方、遊技市場では、ホールの設備投資に抑制傾向が見られ、主要製品である「カードシステム」等の販売は低調に推移いたしました。

海外市場につきましては、北米では、堅調な景気回復が続くなか金融機関の積極的な設備投資が進み、主要製品である窓口用「紙幣入出金機」の販売が好調でありました。一方、アジアでは、中国において市場競争が厳しくなっており、「紙幣整理機」の販売が伸び悩みました。

### 『2017中期経営計画』について

#### 『長期ビジョン2018』の実現に向けた 取組みは最終ステップへ

今年度よりスタートさせた『2017中期経営計画』は、『長期ビジョン2018』の実現に向けた最終ステップと位置づけております。「長期ビジョン達成に向けた『顧客起点のモノづくり』による事業成長と収益性向上」を基本方針に、「事業戦略」、「機能戦略」、「企業戦略」の3戦略を推し進めております。

平成28年3月期上半期の実績と通期の業績予想(連結)

( )内数値は、前年同期(前期)比

	当上半期	通期(予想)	前期
売上高	1,041億46百万円 (+ 7.8%)	2,300億円 (+ 3.4%)	2,223億56百万円
営業利益	67億25百万円 (+34.8%)	200億円 (+ 7.0%)	186億93百万円
経常利益	66億91百万円 (- 0.3%)	200億円 (-10.0%)	222億11百万円
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	30億16百万円 (-26.0%)	115億円 (-10.8%)	128億87百万円

\*1 会計方針の変更について

平成28年3月期第1四半期連結会計期間より、海外現地法人の収益及び費用の換算方法を「直物為替相場」から「期中平均相場」に変更しております。この変更は遡及適用され、前期の財務数値及び前年同期(前期)比較については遡及適用後の数値を記載しております。(以下、本誌において同じ)

\*2 表示の変更について

「連結財務諸表に関する会計基準」等の改正に伴い、平成27年3月期に「当期(四半期)純利益」としていた表示科目は、平成28年3月期第1四半期連結累計期間より「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」に変更されました。(以下、本誌において同じ)

まず、「事業戦略」では、国内外において販売・保守体制の強化に力を入れております。特に海外事業では、インドネシアでの現地法人の活動本格化やニュージーランドでの販売代理店買収など、今後の成長が期待される国や地域への展開を強化いたしました。今後も直販・直メンテナンスのネットワーク拡大を着実に進め、より地域に密着した戦略を展開してまいります。

また、「機能戦略」では、市場ニーズに応える製品やサービスをタイムリーに提供するために、海外市場向け製品の開発体制強化やグローバル生産体制の確立に向けた取組みを推し進めております。

「企業戦略」では、当社グループの事業活動がますます拡大するなか、これを支える経営基盤の強化に取り組んでおります。情報基盤の整備や人材育成の強化等、様々な面から競争力を高めてまいります。

当期の業績見通しと配当について

目標達成に向け  
積極的な販売施策を展開

下半期の見通しにつきましては、国内では景気の回復基調が続き、欧米でも総じて良好な経済環境が継続すると見込まれますが、中国を始めとする新興国経済の

減速や今後の米国の利上げが世界経済に与える影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続くと予想されます。

こうした状況のなか、当社グループは、国内においては、「オープン出納システム」や「レジつり銭機」等、主要製品の更新需要を確実に獲得するとともに、新規需要の発掘にも注力してまいります。海外においては、欧米では、窓口用「紙幣入金機」のさらなる販売拡大に加え、流通市場向け製品の販売にも力を入れてまいります。また、アジアでは、今後も厳しい市場環境が予想されますが、当社の技術力を活かした付加価値の高い製品を積極的に投入し、市場での存在感を高めてまいります。

これらの取組みを確実に推し進め、通期の連結業績につきましては、売上高2,300億円、営業利益200億円、経常利益200億円、親会社株主に帰属する当期純利益115億円の達成を目指してまいります。

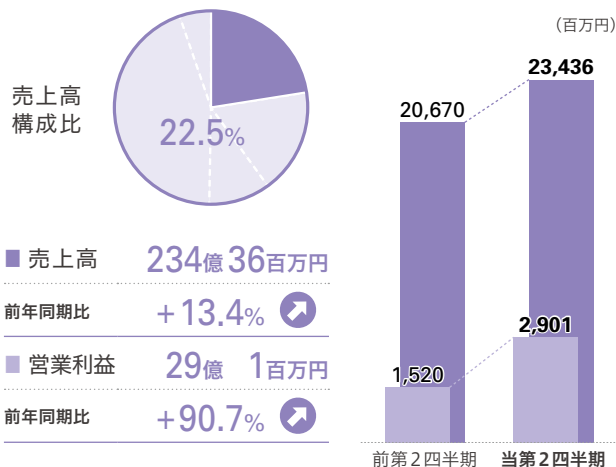
なお、当期の中間配当は、1株につき27円とさせていただきます。期末配当につきましても、27円(年間54円)を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## セグメント別の状況 (各期:4月1日～9月30日)

### 金融市場

主な販売先：国内の金融機関、OEM先



### 主要製品の販売が好調

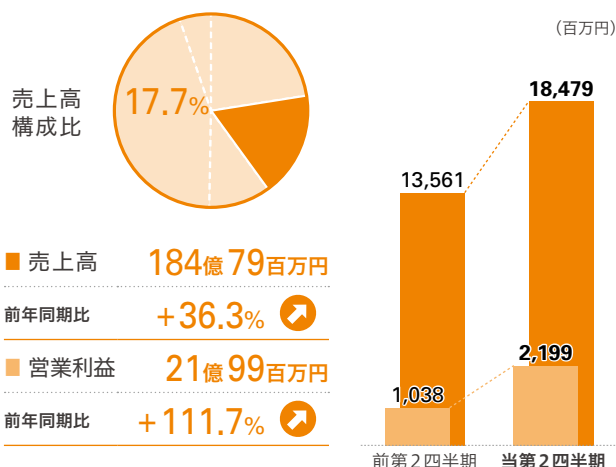
主要製品である「オープン出納システム」の販売は中小規模店舗向けのコンパクトタイプが好調であり、また、窓口用「紙幣硬貨入出金機」の販売も更新需要を捉え好調でありました。



コンパクトオープン出納システム <WAVE C30>

### 流通・交通市場

主な販売先：国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、鉄道会社



### 「レジつり銭機」の販売が好調

主要製品である「レジつり銭機」の販売は好調であり、また、流通市場向け「小型入金機」や警備輸送市場向け「売上金入金機」の販売も更新需要を捉え好調でありました。



硬貨/紙幣レジつり銭機 <RT-300/RAD-300>  
包装硬貨管理機 <WD-300>

グローリー発見! ～流通・交通市場～

## JR金沢駅 ターミナルロッカー



JR金沢駅のシンボル 鼓門

本年3月、東京～金沢間を結ぶ北陸新幹線が開通しました。JR金沢駅には、当社のターミナルロッカーが多数設置されており、利用者の快適な旅をお手伝いしております。

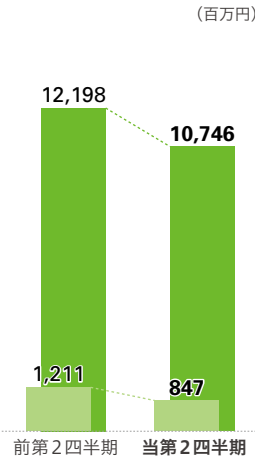


駅に設置されたターミナルロッカー<LTS-100シリーズ>。鍵の代わりにICOCA等の電子マネーでロックの解除ができます。

\*「ICOCA」は、西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

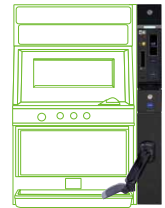


主な販売先：国内の遊技場（パチンコホール等）



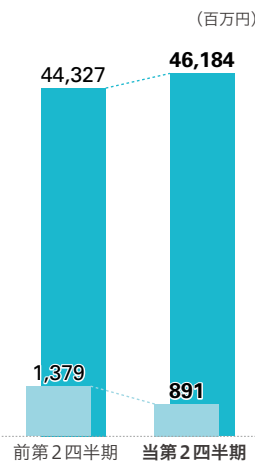
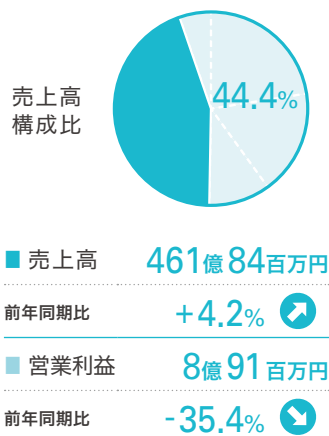
「カードシステム」の販売が低調

主要製品である「カードシステム」等の販売は、ホールの設備投資抑制の影響を受け低調でありました。



G8 EXSIM  
各台計数ユニット  
<JMM-300>

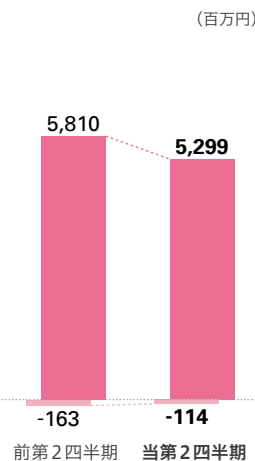
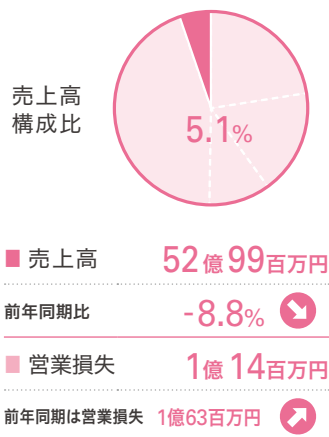
主な販売先：海外の金融機関、警備輸送会社、小売店、カジノ、OEM先



「紙幣入出金機」の販売が好調

欧州やアジアにおいて「紙幣整理機」の販売は低調であったものの、米州や欧州において主要製品である「紙幣入出金機」の販売は好調でありました。また、欧州において流通市場向け「紙幣硬貨入出金機」が好調であり、市場全体としては前年同期並みの販売でありました。また、営業利益は、市場競争の激化や海外事業拡大に伴う先行コストの増加等により減少いたしました。

主な販売先：国内のたばこ販売店、たばこメーカー、病院、自治体、企業



診療費支払機  
<FHP-20>



社員食堂向けオートレジスター  
<PSA-110>



# 躍進を続ける欧州市場

グローリーの欧州進出は、昭和40年代。硬貨包装機の販売からスタートしました。その後、平成3年には、EU発足を控えた欧州市場のマーケティング体制を強化すべく、ドイツに現地法人を設立。さらに、イタリアのシトラード社、英国のタラリス社等の買収によって直販・直メンテナンスのネットワークを拡大してまいりました。現在では、欧州市場は海外売上高の約4割を占める市場へと成長を遂げております。ここでは、欧州の現況と現地で働く社員からのレポートをご紹介します。

## 欧州市場の特徴

欧州は、金融機関の店舗数が非常に多く、EU加盟国だけでも約22万店舗\*、日本の4倍もある巨大市場です。早くから通貨処理機を使う文化が浸透しており、紙幣計数機等の単能機はもちろんのこと、窓口で使われる紙幣入出金機等のシステム機の導入も広がっています。また、近年では、スーパーマーケットを始めとした小売店舗でも、つり銭の払出しや売上金の管理に通貨処理機が活用されており、今後も需要拡大が期待されます。

\* IMF Financial Access Surveyを基に当社が算出

## 欧州市場の主要製品

### 窓口用紙幣入出金機

主に金融機関の窓口を設置され、現金の入出金を行います。ユーロ紙幣のように金種によって大きさの異なる紙幣も正確に読み取れるうえ、内部の紙幣収納ボックスの数が多いのが特徴。紙幣の金種が多い欧州の国々に適した製品です。



<RBG-200>



<Vertera™ 6G>

### 紙幣・硬貨つり銭機

スーパーマーケット等に設置され、レジと連動してつり銭の払出しを自動で行います。買い物客方向に設置できるため、レジ担当者の手を介さず現金の授受が可能。現金管理の厳正化と効率化に効果を発揮します。

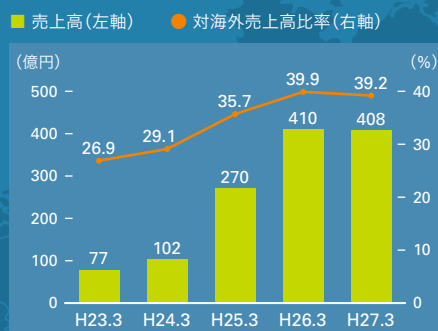


CASHINFINITYはグローリー株式会社の登録商標(日本、欧州、米国他において)です。



<CI-10>

## 欧州市場の売上高推移



本グラフの売上高は、アフリカ地域等の売上も含まれます。



▲ 銀行に導入された <RBG-200>



▶ スーパーマーケットに設置された<CI-10>

# 世界のグローリーからこんにちは！

～社員による現地レポート～

(オラ!)  
**Hola!**



スペイン市場 責任者

**Miguel Muro**  
(ミゲル・ムロ)



スペイン

スペインでは、欧州債務危機に端を発した銀行再編も落ち着き、金融機関は設備投資に力を入れています。こうしたなか、私たちは窓口用紙幣入出金機による業務の効率化を提案し、バルセロナが本店のサバデル銀行を始め、大手銀行に多数の製品を納入しております。

また、スペインの通貨「ユーロ」の発行元である欧州中央銀行は、偽造紙幣の流通を防止するため、金融機関に汚損紙幣を選別する“正損選別”を義務づけています。これに対し、私たちは紙幣整理機を積極的に販売しており、北部の信用金庫、カハ・ルラル・デ・アスチュリアスでは、全店にグローリー製品が導入されております。



サバデル銀行



カハ・ルラル・デ・アスチュリアスの店舗

## スペインのお金事情

「ユーロ」はEU加盟国19カ国で使われている共通通貨です。現在、偽造防止のセキュリティを強化した新紙幣の発行が進められています。2013(平成25)年に5ユーロからスタートし、現在までに3金種が発行されています。



新しいユーロ紙幣、「エウロパ」シリーズ

英国では、300年近い歴史を持つロイヤル・バンク・オブ・スコットランドやロイズ・バンク等の老舗銀行が窓口用紙幣入出金機の導入を積極的に進めており、グローリー製品の販売が拡大しております。

また、私たちは流通市場の拡大にも力を入れております。これまでに、外食事業会社にCASHINFINITY™(キャッシュインフィニティ)を納入しておりますので、この実績を活かし、流通市場での販売をさらに強化してまいります。

(ハロー!)  
**Hello!**



イギリス市場 営業責任者

**Matt Luckhurst**  
(マット・ラックハースト)

## 英国のお金事情

英国の通貨は「ポンド」。発券銀行の1つであるイングランド銀行は、2016(平成28)年から新紙幣の発行を始めます。新たな5、10、20ポンド紙幣は、プラスチック製です。紙よりも丈夫で汚れが付きにくく、偽造防止効果も期待されています。



英国

# 業界初！ 1台2役の“ハイブリッド入金機”

流通・交通市場

## ～紙幣硬貨商品券入金機<DS-N770>を発売～

百貨店やショッピングセンター等の多くの小売店では、売上金を入金機で集中管理しています。また、商品券については、種類ごとに仕分けて発行会社へ発送し、換金していますが、この作業を効率化できるのが商品券入金機です。本年7月に発売した本製品は、売上金入金機と商品券入金機の1台2役をこなす、業界初の“ハイブリッド入金機”\*1です。

\*1「ハイブリッド入金機」はグローリー株式会社の登録商標です

### <DS-N770>の特長

#### ① 売上金も商品券も1台で入金できる

設置面積はそのままに、従来製品\*2の2倍の収納容量を実現。これまで別々の機械で入金していた売上金と商品券を1台で入金でき、業務を効率化します。

\*2 小型入金機<DS-710>との比較

#### ② 商品券の計数や発送の手間を省くことができる

例  
導入前

手作業で計数や発送を行う  
必要があり、手間がかかる



店舗  
仕分け、金額集計



本部へ送付



本部  
各店舗から集めた商品券を  
まとめて発行会社へ送付

例  
導入後

計数や発送の手間を省き、  
発行会社への請求もスピーディー



商品券  
番号

商品券を入金すると、券番号情報を自動で読み取り、情報処理センター経由で発行会社へ送信\*3

\*3 サービスの利用には別途契約が必要

担当者の  
声



国内事業本部 商品企画統括部  
商品企画三部 商品企画2グループ  
佐藤 博

本製品の開発においては、業界初の“ハイブリッド”方式を実現するために、紙幣と商品券両方の読み取りができる識別センサーや、共通搬送路の開発に挑戦いたしました。紙幣と商品券は大きさや厚みが異なるため、同じ方法で運ぶのは難しかったのですが、100ヶ国以上もの様々な紙幣を扱ってきたノウハウを活かし、搬送路の共通化を実現することができました。

これからも、グローリーの高い技術力で、お客さまの業務効率化ニーズに応えてまいります。



# コンパクトと使いやすさを追求した 新型紙幣整理機

海外市場

## ～紙幣整理機<USF-200>を発売～

海外では、偽造紙幣の流通を防ぐため、“正損選別”を行い、汚損紙幣を取り除く動きが広がっています。そのため、金融機関の店舗では、お客さまから預かった紙幣を窓口の小型計数機で計数したあと、さらに後方に設置した紙幣整理機で正損選別を行っており、2回の作業が必要でした。

そこで当社は、本年6月、従来製品の仕様を改良し、窓口にも設置できるコンパクトサイズでありながら、計数から正損選別まで1台で行うことができる本製品を開発いたしました。

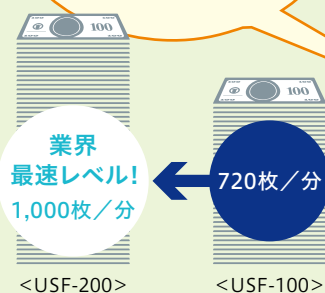


## <USF-200>の特長

計数スピード  
約30%アップ!\*

設置面積  
約35%ダウン\*  
業界最小サイズ!

使いやすさを  
徹底的に追求!



従来製品



<USF-200>

コンパクトなので、座って作業しやすい!

\* 紙幣整理機<USF-100>との比較

## 担当者の 声



海外事業本部 商品企画部  
商品企画グループ

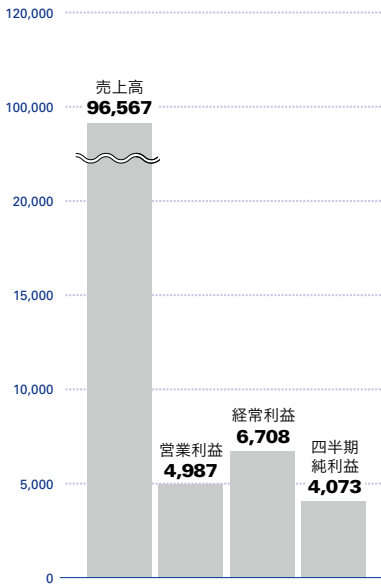
井上 雅棋

本製品の開発においては、高性能はもちろん、窓口にも設置できる“コンパクトサイズ”と、“使いやすさ”を追求いたしました。特に、コンパクト化においては、新たな紙幣搬送技術の搭載により、業界最小の設置面積を実現することができました。また、座った姿勢でも楽に作業でき、メンテナンスもしやすい構造にしたり、使用時のノイズを低減させるなど、徹底的に仕様を改良しております。

これからもお客さまに、「さすがはグローリー！」と言っていただける製品を開発してまいります。

四半期連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

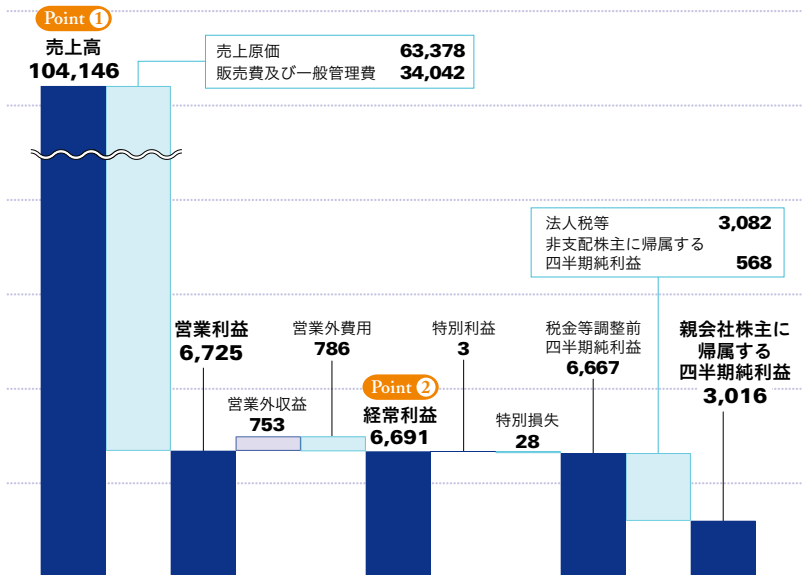
前第2四半期(累計)  
平成26年4月1日から平成26年9月30日まで



(単位: 百万円)

前期 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)	
売上高	222,356
営業利益	18,693
経常利益	22,211
当期純利益	12,887

当第2四半期(累計)  
平成27年4月1日から平成27年9月30日まで



Point

① 売上高

遊技市場における販売は低調であったものの、金融市場、流通・交通市場における販売が増加し、前年同期に比べ7.8%増加しました。

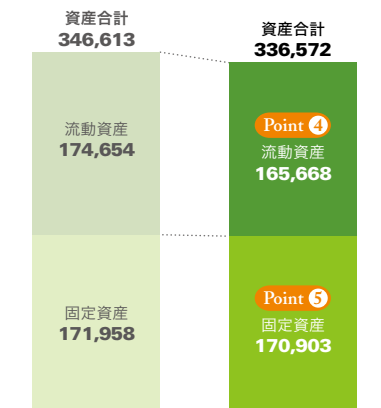
② 経常利益

売上高の増加や販売費及び一般管理費が売上高に占める割合の低下等により、営業利益は増加したものの、為替差損の発生等により、前年同期に比べ0.3%減少しました。

四半期連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)

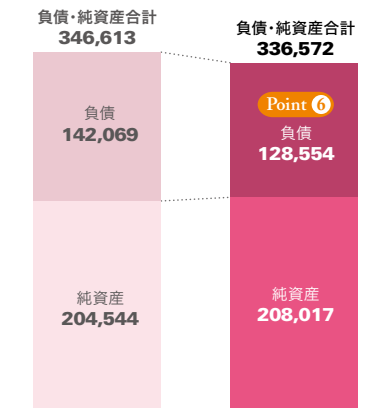
前期末  
平成27年3月31日現在

当第2四半期末  
平成27年9月30日現在



前期末  
平成27年3月31日現在

当第2四半期末  
平成27年9月30日現在



Point

④ 流動資産

受取手形及び売掛金の減少等により、前期末に比べ89億86百万円減少しました。

⑤ 固定資産

タラリス社買収に伴う「のれん」等の償却が進んだことで無形固定資産が減少し、前期末に比べ10億55百万円減少しました。

⑥ 負債

タラリス社買収に伴う借入金の返済を進めた結果、前期末に比べ短期借入金が11億41百万円、長期借入金が46億69百万円減少しました。

会社概要

商号	グローリー株式会社 GLORY LTD.
設立	昭和19年(1944年)11月27日
資本金	12,892,947,600円
ウェブサイト	http://www.glory.co.jp
従業員数	3,273名(連結 8,136名) (平成27年9月30日現在)
本社	〒670-8567 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号 TEL: 079-297-3131 (代表)
事業所	<b>本社・本社工場</b> (兵庫県姫路市) <b>東京本部</b> (東京都千代田区) <b>品川事業所</b> (東京都品川区) <b>埼玉工場</b> (埼玉県加須市) <b>支店等</b> 東北支店(宮城県)、関東支店(埼玉県)、 上信越支店(群馬県)、首都圏支店(東京都)、 東海支店(愛知県)、近畿支店(大阪府)、 中国支店(広島県)、四国支店(香川県)、 九州支店(福岡県) 姫路物流センター、姫路パーツセンター 39営業所、32出張所、3サービスセンター

連結子会社

【国内】

- グローリープロダクツ株式会社
- グローリーAZシステム株式会社
- グローリーサービス株式会社
- 北海道グローリー株式会社
- グローリーIST株式会社
- グローリーナスカ株式会社
- 株式会社グローリーテクノ24

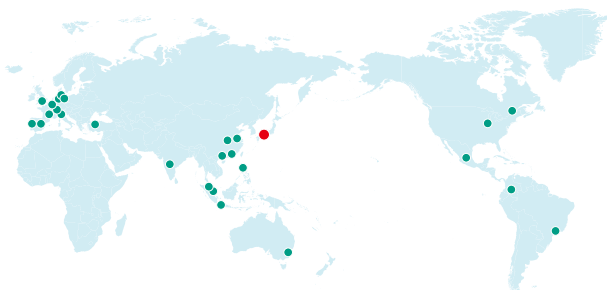
【海外】

- 光栄電子工業(蘇州)有限公司
- GLORY (PHILIPPINES), INC.\*
- Sitrade Italia S.p.A.
- Glory Global Solutions Ltd.
- Glory Global Solutions (International) Ltd.
- Glory Global Solutions (France) S.A.S.
- Glory Global Solutions Inc.
- Glory Global Solutions (Singapore) Pte. Ltd.
- Glory Global Solutions (Shanghai) Co., Ltd.

他22社

\*GLORY (PHILIPPINES), INC.は、平成27年4月1日付で連結子会社となりました。

当社グループの主な拠点



役員一覧

取締役

代表取締役社長	尾上 広和
取締役	三和 元純
取締役	吉岡 徹
取締役	尾上 英雄
取締役	馬淵 成俊
取締役	小谷 要
取締役	原田 明浩
社外取締役	佐々木 宏機
社外取締役	新島 昭

監査役

常勤監査役	大谷 俊彦
常勤監査役	長島 正和
社外監査役	中上 幹雄
社外監査役	濱田 聡

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

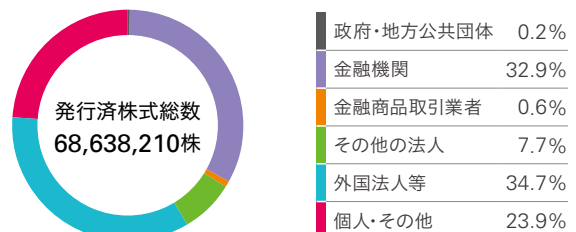
発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	68,638,210株 (自己株式 2,749,614株を含む)
株主数	6,829名(前期末比 421名減)

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	3,877	5.6
日本生命保険相互会社	3,427	5.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,324	3.4
株式会社三井住友銀行	2,100	3.1
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,993	2.9
グローリーグループ社員持株会	1,979	2.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,674	2.4
タツボーファッション株式会社	1,500	2.2
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036	1,193	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,126	1.6

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式2,749,614株があります。

所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めます。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	6457
公告方法	電子公告によります。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 [公告掲載URL] <a href="http://www.glory.co.jp">http://www.glory.co.jp</a>

株主名簿管理人 / 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
〔各種お問合せ先 / 郵便物送付先〕	三菱UFJ信託銀行株式会社
	大阪証券代行部
	〒541-8502
	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
	TEL : 0120-094-777 (通話料無料)
	受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)
(ウェブサイトアドレス)	<a href="http://www.tr.mufig.jp/daikou/">http://www.tr.mufig.jp/daikou/</a>

### (ご注意)

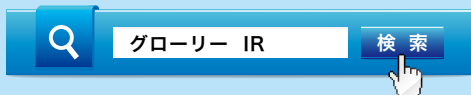
1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でのお支払いいたします。

## グローリーIRメール 配信のご案内

当社は、ニュースリリースやウェブサイト更新のお知らせなど、株主のみなさまに役立つ情報をEメールでタイムリーに配信しております。当社ウェブサイトの「株主・投資家の皆さまへ」ページより、ぜひご登録ください。

ご登録はこちらから

<http://www.glory.co.jp/ir/>



### ウェブサイト「株主・投資家の皆さまへ」ページ



地球環境保護のためにFSC®認証紙と大豆油インキを使用しています。